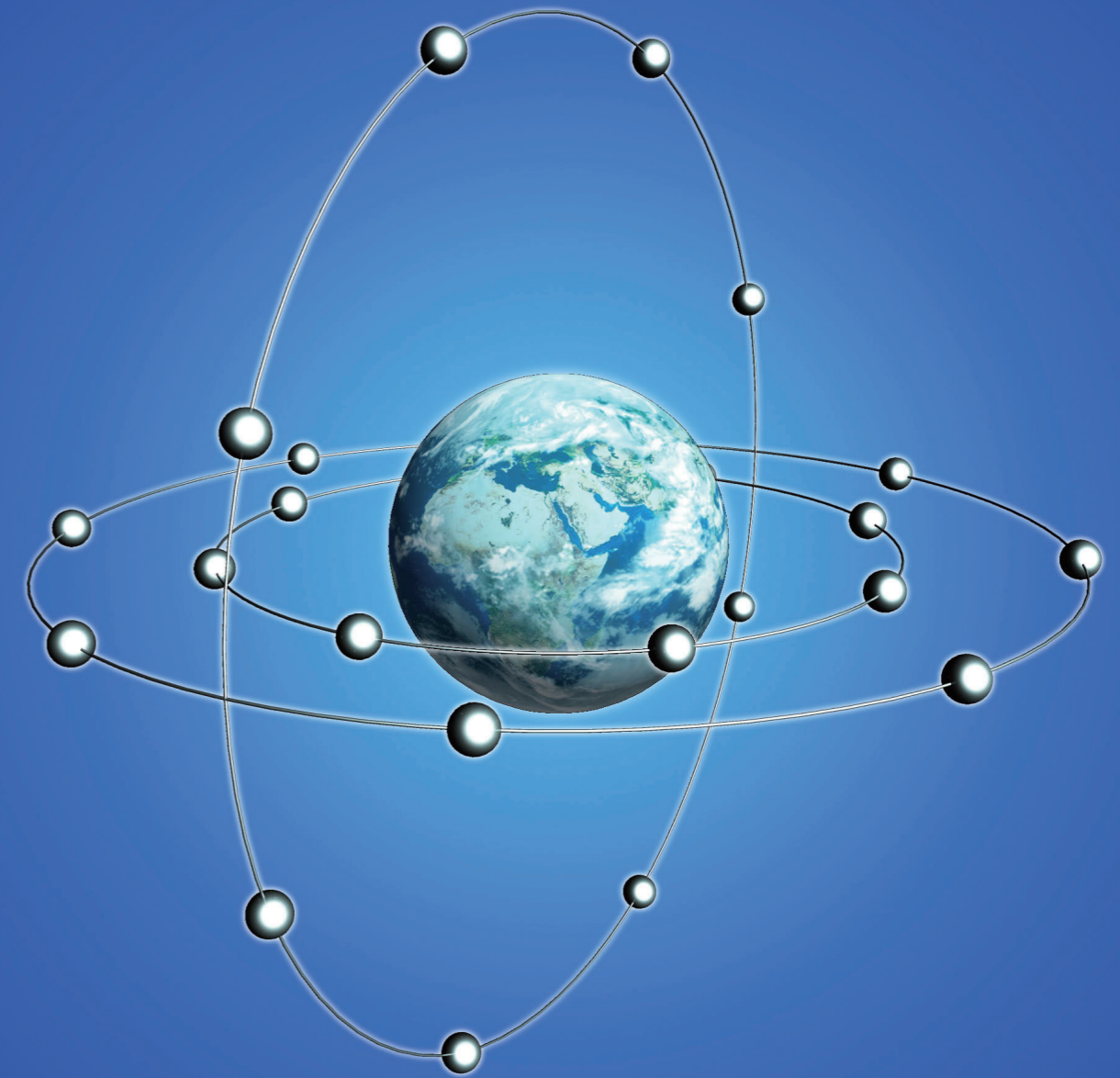


# エネルギー政策フォーラム

—原発安全革命：脱重大事故、脱プルトニウム、減廃棄物—



## 木下 幹康 (財) 電力中央研究所原子力技術研究所特別嘱託



應義塾大学工学部卒同大学院工学研究科修士課程修了工学博士(東京大学) 学术界(大学・国立研究所)と発電現場を往来し、問題を発見し解決する研究を30年間進める。方法論の特徴は物理学的視点での現象の発見、非線形数学モデルの構築、国際ネットワーク(プロジェクト研究)活用。

実績例は、安全審査と発電炉燃料挙動解析コードの開発(1980年代)。

1994年IAEAの命で中国核能研究所(北京)で技術講習。1994年より国際共同研究HBRP(軽水炉燃料の高燃焼時実験プロジェクト)を企画、プロジェクトマネージャとして運営。現象(細粒化)発生のしきい温度と燃焼度を同定(2001年終了)。2004年原子力委員会の命で新クロスオーバー研究プロジェクトリーダーに就任。原子炉内UO<sub>2</sub>の高燃焼組織変化(細粒化)を炉外加速器照射で模擬的再現に成功。計算科学で機構解明を進め2009年終了。現在は、照射下材料現象のうちセラミックスの酸素挙動(ナノ結晶)を中心に仏・米と共同研究中。

UO<sub>2</sub>とトリウム(ThO<sub>2</sub>)の比較研究に着手している。

経済産業省原子力安全基盤小委員会委員, 経済産業省原子炉安全小委員会燃料ワーキンググループ委員, 経済産業省総合資源エネルギー調査会臨時委員, 原子力学会標準委員会発電炉専門部会委員, 日本原子力研究開発機構高度化軽水炉燃料事故時挙動調査分科会委員

## 小野 章昌 コンサルタント



【プロフィール】東京大学工学部鉱山学科卒、三井物産(株)にて資源開発、原子燃料ビジネスに携わる退職後コンサルタント

(以下、最近の講演より)

「原子力発電の未来を問う! Part 2」パネリスト: 宇田川敬介(ジャーナリスト・国会新聞社編集次長) 小野章昌(元三井物産原子燃料部長) 再生時間: 57:39 [桜 H23/5/14]

「福島第一原発事故と世界のエネルギー・環境問題」

① 原発問題、② 低炭素社会に向けた再生可能エネルギーの可能性等について、諸外国の事例などの報告を交えながら討論を行いました。主催: 弁護士会連合会 (USTREAMにて配信中)

## 嶋矢 志郎 (財) 地球環境財団 理事長



【プロフィール】1961年早稲田大学政経学部卒、日本経済新聞社(記者職)入社、論説副主幹/論説委員を最後に、大学教授へ転じ、広島市立大学国際学部/大学院国際学研究科教授兼教学部長兼評議員、芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科教授、同大学先端工学研究機構客員教授等を経て、現職に至る。

この間、政府、中央官庁、地方自治体等の各種委員など公職を多数歴任する一方、筑波大学など10余の大学/大学院での非常勤講師、新聞、雑誌への定期寄稿、テレビ東京のニュースキャスター、ラジオ日経のパーソナリティー等、各種マスメディアにレギュラー出演。

専門は、地球社会論、現代文明論、環境共生論、環境経営論、CSR論。著者/論文多数。

## 主催: エネルギー政策フォーラム実行委員会

構成団体: (社) 科学技術海外進出機構、世界戦略総合研究所、信勇会、日本ビジネスインテリジェンス協会、(社) 地域活性化機構、NPO 知恵の輪、地球市民機構、(財) 地球環境財団、NPO トリウム熔融塩炉国際フォーラム、NPO 未来構想戦略フォーラム、NPO 山元学校ほか

後援: 神奈川県保険医協会

連絡先: 実行委員会事務局 E-mail: jepf2100@gmail.com Tel. 03-6278-7108 Fax: 03-6278-7106

〒104-0061 東京都中央区銀座6-17-2 ビルネット館2-3F (財) 地球環境財団内 (担当: 重松)

平成23年9月21日(水) PM:1:30 ~ 4:30

私学会館6階霧の間